LiPro評価基準（不登校の中学生向け通信教育）｜2025年2月調査

LiProでは不登校の中学生向け通信教育のランキング作成において、評価基準を作成いたしました。

当サイトは広告収入を元に運営されています。ユーザーの皆様に公正、かつ、正確な情報をお届けするために、広告にあたる商品・サービスには「PR」や「スポンサードリンク」などの記載をすることを遵守しています。「選び方」で紹介している情報は、必ずしも個々の商品の安全性・有効性を示しているわけではありません。商品を選ぶときの参考情報としてご利用ください。

調査概要

調査方法	調査した不登校の中学生向け通信教育を確認
調査実施期間	2025年2月18日～2月19日

1. 評価基準の設定の流れ

評価基準の設定の流れは以下の通りです。

1. 各不登校の中学生向け通信教育の公式サイトを確認
2. 評価基準の項目について調査
3. 評価基準をもとに評価をする

1-1. 各通信教育の公式サイトを確認

調査する不登校の中学生向け通信教育の公式サイトにてサービスの内容等を確認しました。

1-2. 評価基準の項目について調査

評価基準（「月額料金」「カリキュラム」「不登校サポート」「サポート内容（子供向け）」「サポート内容（保護者向け）」）の5項目に関して、不登校の中学生向け通信教育の公式サイト情報を調査しました。

1-3. 評価基準をもとに評価をする

調査した情報を確認して、評価基準をもとに評価をしました。

2. 評価基準

「月額料金」「カリキュラム」「不登校サポート」「サポート内容（子供向け）」「サポート内容（保護者向け）」の5項目において、1～5までの評価基準を設定いたしました。

項目	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5
月額料金	10,000円以上	10,000円以内	8,000円以内	5,000円以内	3,000円以内
カリキュラム	基礎的な学習も慎重で、カリキュラムが全体的に偏りや不足している。	基礎的な学習はある程度できるが、応用的な内容が不足している。	学校のカリキュラムにはある程度対応しているが、一部で不足している分野がある。基礎的な学習はしっかりとできるが、応用力を伸ばすカリキュラムが不足している。	基礎から応用への段階的な学習設計がされているが、一部科目の内容にバラツキがある。繰り返し学習や復習の機能はあり、さらに工夫ができる部分が見られる。	学校の教科書や定期テスト、高校受験に対応したカリキュラムが充実しており、 基礎から応用まで段階的にわかりやすい設計になっている。繰り返し学習や復習ができるシステムも整備されており、深い学習効果が得られる。

不登校サポート	不登校サポートがない、もしくは公式サイトに記載がない	不登校サポートはあるがオンライン教材を提供するのみの内容	不登校サポートはあるが、出席扱い制度は利用できない	不登校サポートに出席扱い制度が含まれていて、基礎学習や定期テスト対策ができる	不登校サポートに出席扱い制度が含まれていて、高校受験対策を含むあらゆるニーズに対応できる
サポート内容（子供向け）	公式サイト記載なし	学習の進捗管理ができる。質問はできる場合、フィードバックが遅れがちで、学習に対する改善提案が少ない	質問ができるが、わずかまでに少し時間がかかることがある。フィードバックはありますが、不定期であるため、学習の進捗が把握しにくい部分がある。	比較的迅速に質問対応ができ、適切な解説を受けられる。定期的なフィードバックがあり、子どもの理解をしっかり確認できる。	いつでもすぐに質問でき、丁寧でわかりやすいフィードバックが得られる。毎回の学習に対してタイムリーにフィードバックがあり、成績や理解度に基づいたアドバイスが提供される。
サポート内容（保護者向け）	公式サイト記載なし	進捗状況の確認が正しく、定期的な報告がないか、遅れることが多い。問い合わせができるが、対応が一時的に、待たされることが多い。	学習進捗を確認するツールはあるが、内容が限定的で、深い分析はできない。連絡は取れるが、対応が遅かったり、対応手段が限定的であったりする。	定期的な進捗報告があり、基本的な状況を把握できるが、細かい部分は手動で確認する必要がある。基本的な連絡手段が整備されており、迅速な対応が可能ですが、相談は少し時間がかかることがある。	オンラインで進捗状況を確認でき、詳細なレポートが提供される。電話、メール、オンラインチャットなど多彩な手段で迅速に対応してもらえ、相談も定期的にできる

2-1. 月額料金

契約料金内容が通信教育ごとに異なるため、月額料金で掲載しました。

2-2. カリキュラム

高校受験・応用まで対応しているか基礎学力向けかどうかが教育サービスを選ぶ判断基準になるため、カリキュラムの充実度を評価の基準としました。

2-3. 不登校サポート

出席扱い制度に対応しているかどうかは、不登校の保護者が教育サービスを選ぶ上で重要な判断基準になるため、不登校サポートを評価の基準としました。

2-4. サポート内容（子供向け）

学習の進捗管理や質問に対するフィードバックは、不登校の中学生向け通信教育には必要です。子供のモチベーション維持・向上のために、各通信教育のサポート内容の充実さを評価の基準としました。

2-5. サポート内容（保護者向け）

保護者が子供の学習の進捗などを知れることや相談・連絡できることで通信教育への信頼が生まれます。そのため、保護者へのサポート内容の充実さを評価の基準としました。

3. 調査した不登校の中学生向け通信教育

今回調査したのは下記の通信教育です。

不登校の中学生向け通信教育	公式サイト
トライのオンライン個別指導塾	公式サイト
進研ゼミ中学講座	公式サイト
スマイルゼミ 中学生	公式サイト
Z会の通信教育	公式サイト
すらら	公式サイト

中学ポピー	公式サイト
天神	公式サイト
サブスタ	公式サイト